平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　株式会社ストライダーズ　　上場取引所　大
コード番号　9816　URL　http://www.striders.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 早川　良一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　兼　CFO　(氏名) 前田　嘉也　TEL 03-5777-1891

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	720	41.1	△117	―	△98	―	△98	―
24年3月期第2四半期	510	△56.4	△121	―	△114	―	△52	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△113百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△53百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△1.32	―
24年3月期第2四半期	△0.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	1,642	1,071	63.9	14.11
24年3月期	1,746	1,184	66.4	15.60

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　1,048百万円　24年3月期　1,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,590	47.1	△133	―	△87	―	△98	―	△1.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成24年11月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	74,330,896 株	24年3月期	74,330,896 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	24,798 株	24年3月期	24,598 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	74,306,201 株	24年3月期2Q	74,307,349 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は東日本大震災による甚大な被害と原発事故の影響による著しい企業の生産活動の低下や個人消費の落ち込み等からは脱しつつあり、緩やかな回復の傾向がみられるものの、欧州債務危機の再燃、長引く円高など、先行きの不透明感は依然として払拭できない状況にあります。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、新たな収益源の獲得や新規顧客獲得に向けた営業努力を重ねる一方、人件費・外注費の削減等のコストダウンに努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高720百万円（前年同四半期比41.1％増）、営業損失117百万円（前年同四半期は営業損失121百万円）、経常損失98百万円（前年同四半期は経常損失114百万円）、四半期純損失98百万円（前年同四半期は四半期純損失52百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①　ＩＴ関連事業

ＩＴ関連事業につきましては、主力取扱商品であった法人向けネットワークセキュリティ商品「SMART FILTER」の販売を、当第２四半期連結会計期間末に終了いたしました。一方、前連結会計年度末に連結子会社に加わったモバイルリンク株式会社が行っている車載端末システムの受託開発は新規顧客獲得に向けて営業を行っております。また、新たに中古車情報検索・車買取一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受け、新たな収益部門としてWebマーケティング分野でのサービスを開始いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間のＩＴ関連事業の売上高は104百万円（前年同四半期比152.5％増）、営業損失は26百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

②　企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、長期化する景気の低迷や震災の影響等により、企業再生・再編の関連分野におけるニーズは引き続き高く、Ｍ＆Ａグローバル・パートナーズ株式会社は、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、Ｍ＆Ａに関するコンサルティング業務等、多様な案件に取り組んでまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の企業再生再編事業の売上高は12百万円（前年同四半期比37.2％増）、営業損失は７百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

③　不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、新設住宅着工件数（貸家）は2012年１月から６カ月連続で前年同月比プラスで推移、７月以降も安定した着工件数を保っており、一定の回復傾向を見せておりますが、新規の管理受託が増加する一方で、サブリース契約での利鞘の減少や広告費等の増加、不動産ファンドや個人オーナーの物件売却に伴う解約の発生により管理戸数は伸び悩む等、厳しい環境が続いております。

このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、マーケット環境及び物件の特性を的確に捉えた営業活動を積極的に展開し、入居率向上や、賃料水準の維持を図ってまいりました。不動産仲介店舗において４～９月は閑散期であり売上が伸び悩んだものの、サブリース契約による新規の管理物件の獲得等により、当第２四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は540百万円（前年同四半期比17.6％増）、営業損失は９百万円（前年同四半期は営業利益５百万円）となりました。

④　食品関連事業

食品関連事業につきましては、第１四半期連結会計期間より新たに連結子会社となった有限会社増田製麺は、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンの製麺を主力とし、従来からの品質の維持に加え、業務の効率化やコスト削減等に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は62百万円、営業利益は４百万円となりました。食品関連事業の前年同四半期比については、第１四半期より開始した事業のため記載しておりません。

⑤　その他の事業

その他の事業につきましては、グローバル芸術家有限責任事業組合において現代美術家の絵画作品等に投資を行っておりますが、欧米および中国の美術品コレクターまたは投資家とグローバルな観点から連携し、展示会への出品により作品価値の向上を図ることにより、当ファンドの価値増加及び保有絵画のキャピタルゲインの獲得を目指してまいりました。当期の業績につきましては、作品価値向上の為のプロモーションに注力しつつ、国内外での需給状況を慎重に見極めており、積極的な販売活動を行っていない為、売上高は計上されておりません。また、たな卸資産について額装等のメンテナンスを行ったため、営業損失は１百万円（前年同四半期は営業損失０百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は594百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が293百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,047百万円となり、前連結会計年度末に比べ237百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が60百万円、無形固定資産が182百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は349百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主に未払金が65百万円増加したことによるものであります。固定負債は221百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に長期預り敷金保証金が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、571百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は1,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失98百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.9％（前連結会計年度末は66.4％）となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は485百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円減少となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純損失の計上や、仕入債務の減少等により74百万円の資金の減少となりました。前年同期と比べますと63百万円の増加となっております。

主な要因は、売上債権の回収による売上債権の減少額が38百万円増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、事業譲受による支出や、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出等により205百万円の資金の減少となりました。前年同期と比べますと396百万円の減少となっております。

主な要因は、事業譲受による支出が100百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が122百万円であったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、３百万円の資金の減少となりました。前年同期と比べますと３百万円の減少となっております。

主な要因は、長期借入金の返済による支出が３百万円であったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期累計期間の業績を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成24年11月９日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した有限会社増田製麺を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加減算項目等を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等かつ一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の事業予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,909	485,909
売掛金（純額）	78,183	50,614
たな卸資産	29,277	31,629
その他	50,826	26,679
流動資産合計	937,197	594,832
固定資産		
有形固定資産	22,839	83,432
無形固定資産		
のれん	369,786	552,193
その他	13,249	13,571
無形固定資産合計	383,035	565,765
投資その他の資産		
投資有価証券	350,177	344,423
その他	53,663	54,081
投資その他の資産合計	403,840	398,504
固定資産合計	809,716	1,047,703
資産合計	1,746,913	1,642,536
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,531	33,187
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	6,000	6,000
未払金	14,053	79,885
未払法人税等	11,255	2,442
賞与引当金	13,931	11,289
預り金	81,847	77,385
その他	82,677	89,381
流動負債合計	326,297	349,571
固定負債		
長期借入金	16,500	13,500
退職給付引当金	5,401	5,973
長期預り敷金保証金	213,814	202,080
固定負債合計	235,715	221,554
負債合計	562,012	571,125

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,406	1,314,406
利益剰余金	△149,061	△247,193
自己株式	△2,941	△2,945
株主資本合計	1,162,403	1,064,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,645	△15,481
その他の包括利益累計額合計	△2,645	△15,481
少数株主持分	25,142	22,624
純資産合計	1,184,900	1,071,410
負債純資産合計	1,746,913	1,642,536

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	510,670	720,674
売上原価	373,335	536,870
売上総利益	137,335	183,804
販売費及び一般管理費	258,724	301,496
営業損失（△）	△121,389	△117,691
営業外収益		
受取利息	1,570	383
受取配当金	25,760	25,115
受取手数料	3,145	2,937
償却債権取立益	716	－
貸倒引当金戻入額	3,880	228
その他	3,819	2,868
営業外収益合計	38,892	31,532
営業外費用		
支払利息	603	598
債権売却損	10,501	－
為替差損	20,816	9,435
雑損失	－	2,211
営業外費用合計	31,921	12,245
経常損失（△）	△114,418	△98,404
特別利益		
関係会社株式売却益	11,731	－
特別利益合計	11,731	－
特別損失		
固定資産除却損	741	1,180
特別損失合計	741	1,180
税金等調整前四半期純損失（△）	△103,428	△99,584
法人税、住民税及び事業税	889	1,065
法人税等調整額	△51,404	－
法人税等合計	△50,514	1,065
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△52,913	△100,649
少数株主損失（△）	△30	△2,517
四半期純損失（△）	△52,882	△98,131

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△52,913	△100,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,652	△12,836
為替換算調整勘定	45,173	－
その他の包括利益合計	△478	△12,836
四半期包括利益	△53,392	△113,486
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,361	△110,968
少数株主に係る四半期包括利益	△30	△2,517

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△103,428	△99,584
減価償却費	4,885	6,907
のれん償却額	29,144	37,808
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△10,067	339
その他の引当金の増減額（△は減少）	△3,618	△2,069
受取利息及び受取配当金	△27,330	△25,499
支払利息	603	598
為替差損益（△は益）	20,817	9,435
関係会社株式売却損益（△は益）	△11,731	－
固定資産除却損	741	1,180
売上債権の増減額（△は増加）	4,408	42,731
たな卸資産の増減額（△は増加）	△45,617	△369
仕入債務の増減額（△は減少）	2,826	△38,601
預り金の増減額（△は減少）	△2,604	△20,088
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	△28,970	△11,733
その他	6,064	9,070
小計	△163,877	△89,872
利息及び配当金の受取額	27,396	25,499
利息の支払額	△603	△565
法人税等の支払額	△1,500	△9,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	△138,584	△74,816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,614	△3,011
無形固定資産の取得による支出	△286	△2,989
事業譲受による支出	－	△100,238
投資有価証券の取得による支出	－	△7,082
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△122,007
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	179,482	－
貸付金の回収による収入	6,500	30,000
差入保証金の差入による支出	△8,488	△414
差入保証金の回収による収入	16,829	－
その他	5	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	190,428	△205,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	－	△3,000
自己株式の取得による支出	△7	△4
その他	500	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	492	△3,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,817	△9,435
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	31,518	△293,000
現金及び現金同等物の期首残高	704,212	778,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	735,731	485,909

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＩＴ関連事業	企業再生再編事業	不動産賃貸管理事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	41,409	9,400	459,861	－	510,670	－	510,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	41,409	9,400	459,861	－	510,670	－	510,670
セグメント利益又は損失（△）	△17,915	△16,165	5,579	△910	△29,411	△91,978	△121,389

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△91,978千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＩＴ関連事業	企業再生再編事業	不動産賃貸管理事業	食品関連事業	その他の事業			
売上高								
外部顧客への売上高	104,552	12,900	540,782	62,439	－	720,674	－	720,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	104,552	12,900	540,782	62,439	－	720,674	－	720,674
セグメント利益又は損失（△）	△26,857	△7,650	△9,493	4,784	△1,996	△41,212	△76,478	△117,691

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△76,478千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報
第１四半期連結会計期間において、中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受けました。また、有限会社増田製麺の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これらにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第２四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ＩＴ関連事業」において96,896千円、「食品関連事業」において224,158千円増加しております。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、有限会社増田製麺を連結子会社にしたことに伴い、同社が営む製麺事業を「食品関連事業」として、新たに報告セグメントの区分に追加いたしました。

また、第１四半期連結会計期間より、「ＩＴ関連事業」において、中古車情報検索・中古車買取り一括査定サイト「BUY CAR JAPAN」の事業を譲受け、Ｗｅｂサイト運営によるマーケティングソリューションを行っております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。